



TIFA会報

2016年11月24日

Vol.124

立川国際友好協会

発行責任者 斎藤 寛

編集責任者 小林 保

Tachikawa International Friendship Association

ホームページ <http://tifa-class.net/>

外国人に日本語を教えるボランティア団体

土曜教室 ボランティア研修会

10月29日(土)、ボランティア教師の相互研鑽を目的とした研修会を開催しました。講師はTIFA副会長の橋本氏と土曜教室部長の的場氏が務めました。

まず、橋本氏から「在留外国人の現状と在留資格」についてのお話がありました。在留外国人数の推移、就労の 카테고리、技能実習制度の現状・制度などについて最新の資料をもとに説明がありました。技能実習生の受け入れの仕組みや保険・年金制度などにつき活発な質疑応答がなされました。

次に、的場氏から「みんなの日本語の構成 第1課～第20課」というテーマで講習が行われました。各課の主要

文法項目を理解したうえで20課(普通形)までの授業をしっかりと行うことが大切で、それが日本語学習の基本となることを学びました。



ることを学びました。

今回は今年度2回目の研修会で18名の出席があり、前回に続き会員の指導力向上に対する強い熱意が感じられました。

☆受講生と南砂小学生の交流☆

木曜教室 山崎 耕造

南砂小学校は立川市の国際交流の重点校に指定されています。10月20日、南砂小学生と交流すべくTIFA受講生5名が南砂小学生の4年生と楽しく交流して来ました。

小学生が5つのグループに分かれ、各グループで考えた活動内容に従って行動開始です。お互いの自己紹介から始

まり、出身国の言葉(挨拶)や、子供達の遊びと質問は多岐に渡っていました。運動系では、ドッチボール、サッカー、鬼ごっこ受講生も良い汗をかいて楽しみました。最後は手作りのプレゼントを



頂き感激しきり、別れる時は感極まり泣く子もいて、受講生ももらい泣きしながら別れを惜しんでいました。良い交流会だったと思います。

☆秋のイベント☆

「サントリー武蔵野ビール工場」見学

企画渉外部

例年、秋のイベントは日帰りバスツアーでしたが、今年は今迄と趣を変え、「サントリー武蔵野ビール工場」の見学を10月16日に実施しました。

秋晴れとはいかないまでもますますの天気、府中本町駅から歩くこと15分、荒井由美の歌詞「中央フリーウェイ」にもあるように競馬場を超えて、高速道路を渡ったところにその工場はあります。

見学にはTIFAから20名が参加しました。約60分間の見学コースは製造工程を沿って整備されており、ガイドさんの説明もわかりやすかったです。

日本文化はお米、各地に日本酒の酒蔵も数多くあります。西洋文化が入ってきた近代からは、ビールの需要も高まり、今では日本酒を凌駕する出荷量です。

それを支える、近代的な工場のラインを目の当たりにして、伝統的な醸造技術をベースに新技術を取り込み、日々努力を加えていく日本人の対応力と探究心には改めて関心させられました。

参加者の試飲する笑顔を見ていただければ、その美味さも理解していただけるでしょう。



ベトナム ホーチミンでの 日本語教師ボランティア

土曜教室 小林 保

実習生として来日するベトナム人に日本語を教えるため、2016年8月21日から11月12日までベトナム ホーチミン市に行きました。3年前にハノイに滞在したことがあります。今回も同じ団体：ITM 日本語センターからの要請によるものです。航空券、ピザ取得、通勤に必要なバス代、アパート代、食費等は団体が支払いますが日当はありません。

学校はホーチミンに2か所あるITMセンターの1つで、ホーチミンNTT大学の第7校舎の一部を借りています。実習生は全員ここに寄宿し、4ヶ月～9ヶ月の間、日本語を勉強します。その期間は日本語の習得度よりもむしろ受入会社の要望でほぼ決まるようです。

実習生約150人を、ベトナム人教師10名と私で教えました。当初、男性教師は2名いましたが辞め全員女性となりました。時々、アルバイトで2名の男性が日本語教師として来ることがあり、その内の1人はベトナム在住の日本人で、奥さんはベトナム人だそ

うです。その他に事務職員が10名程おり、その半数の方は日本語が堪能でした。教師、職員ともに若く、おそらく半数以上の方は20歳代だったと思います。



ITM 第1センターの校舎

ベトナム人の先生は実習生として来日経験がある人と大学で日本語を学んだ人の両方がおり、前者の方が多いようです。1日、2コマ（1コマは45分）～5コマの授業を担当し、5コマを受け持つ日はやはり疲れました。



バイクの洪水で身動きできないバス

バイクの数でバスは思うように動けず2時間近くかかることもありました。

実習生の年齢は殆ど20歳代で、10歳代後半、30歳代前半もいますが、ごく稀でした。貧しい家庭の子が多いと思われがちですが、そうでもなく、全員が高校、あるいは大学を卒業し、中には英語を話せる人もいました。ベトナムでは職業の選択範囲が狭く、日本に行くことで将来を切り開きたと思っている人もいますが、お金が欲しいが本音のようです。既婚者もおり、子供や配偶

者と離れるのは寂しいでしょう。任期はほとんどが3年間で、数少ないですが1年間もあります。ベトナム帰国後に何をしたいかと聞くと、大半はベトナムにある日系企業で働きたい、日



教室の様子

本語の先生になりたいと答える実習生が多かったです。ベトナム人教師が文法、語彙、定型文を教え、私は主に会話と各段階での進捗度チェック、出国前の会話チェックを担当しました。

出国の日が近づいてくると、実習生は日本語の勉強以上に自分の行く会社やその地域への関心が高まってくるようです。インターネットで会社のホームページやグーグルマップ/ア

ースで会社の建物、近くの道路の様子を見せてやると本当に喜びます。自分の友達が住んでいる所、有名な観光地等までの行き方、旅費についても頻りに聞いてきました。日本の物価についても関心があるようで、冬物の衣類はいつ買うと安いか、日本の食べ物はベトナムに比べどのくらい高いか等もよく聞かれました。

ITMセンターの掲示板に、創立してから現在まで日本へ出国した実習生の人数が都道府県別に掲示してありました。九州、中国地方、近畿地方、中部地方が多く、寒い北海道や東北地方は敬遠されているようです。

途中帰国者が約3%、失踪者が約4%程います。途中帰国者は、家庭の事情、自分の健康状態等により残念ではあるが帰国しなければならなかったのでしょうか。失踪者が約4%は予想外で、彼ら、彼女らは、今どのような生活をしているのか心配です。出国時は多少の不安はあるものの、希望を持ち日本に向かった筈です。本人は悩み、迷った結果、失踪したのでしょうか、本当に間違った選択をしたものだと思います。全員が任期を終えて家族や友人の待つベトナムに無事、帰国することを願っています。



空港での記念写真
スーツを着た人が出国する実習生
その他は見送る実習生

TIFA会長 ☆社会奉仕功労者として表彰☆

東京立川ロータリークラブより、TIFA会長 斎藤貴氏が社会奉仕功労者として表彰され、表彰式は10月28日、立川パレスホテルで開催されました。

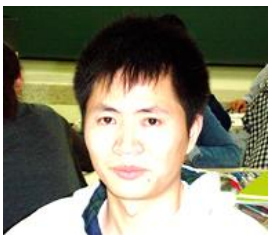
表彰の理由はTIFA活動や知的障害者施設「白州いずみの家」の30年間にわたる福祉活動の総合的評価の結果によるものです。特に立川市内におけるTIFA活動を通じて、この度の多文化共生都市宣言を行政と議会に働きかけてきた事が、立川市の未来を切り開く糸口になると評価されたものと思われます。

受表式で賞状と副賞として花瓶及び紀の国屋和菓子「おこじゅ」を頂きましたが、和菓子は11月5、6日に開催された“世界ふれあい祭り”のバザー参加者へのお茶菓子に提供されました。

☆受講生の家族（西砂教室）☆

氏名：蔣(しょう) 金(きん)イン(いん) 男性 30代

生まれ育ったところ： 中国・湖南省



家族紹介：私は結婚しています。家内は中国の江蘇に住んでいます。現在はインターネット時代で毎日インターネットを利用して「wechat」というLineみたいなソフトで家族と連絡しています。

もうすぐ家内は日本に来ます。彼女は日本語が出来ません。

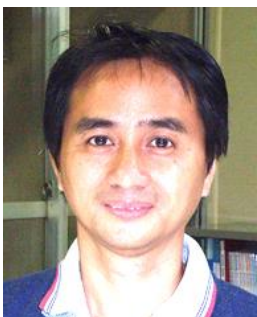
今も勉強しています。日本に来たら一緒に日本語のボランティア教室に参加します。

氏名：ARIAS(アリアス) NINO(ニーニョ) JOEL(ジョエル)

男性 40代

生まれ育ったところ：フィリピン・シブ島出身

来日した時期：16年前



家族紹介：わたしの家族は、日本人の妻、高1と小4の息子、中2と小5の娘の6人家族です。子どもたちは、どんどん成長し一番上の子は私の身長をこえ、娘たちも、もうすぐこえてこえそうです。時間があるときは子どもたちにチェスを教えてあげています。日本での仕事は、むずかしいこともあります。家族のためにがんばっています。

私の故郷・シブ島には、母と兄と妹がいます。兄の家族は3人、妹の家族は5人で皆いっしょに暮らす大家族です。

氏名：冷雪(レイセツ) 30歳代

生まれ育ったところ：女性 中国 大連

来日した時期：2006年

家族紹介：中国遼寧省で生まれました。故郷の家族は4人います。お母さん、お父さん、弟と私です。



いま日本にいる家族は主人と子供が二人です。上の子は八歳で6年生です。

下の子は10歳で小学校5年生です。もしみなさんが中国に行ったら夏は海にいくのがおすすめです。バーベキューができるし、海で泳ぐことができる、貝を集めたりするのもできるし、夜になると花火が見られます。ぜひ海に行ってみて

ください。故郷の家族が日本に来たら東京スカイツリー、横浜と沖縄あと温泉に連れて行きたいです。

氏名：ジシカ (参考：漢字名は 戡然) 女性 10代

生まれ育ったところ： 中国 瀋陽

来日した時期：2016年 4月

家族紹介：私が生まれたのは瀋陽という四季がはっきりしている

都市です。私が小さいころ母が日本に来ました。今年の4月に私は母と一緒に暮らしたい、日本の社会で活躍したいという気持ちを抱いて日本に来ました。今、父は中国に住んでいます。父はいつもシリアスな表情を浮かべています。でも大好きです。

かなり発達した技術のおかげでウェイチャットというSNSで父とビデオ通

話できます。

物理的な距離があっても心の距離は近いです。もし父が来日したら是非、日本の歴史的な町の京都を案内したいです。

氏名：アン・グエット 女性 30歳

生まれ育ったところ：ベトナム ホーチミン市の近く

来日した時期：2014年10月

家族紹介：私の家族は5人です。両親と私と弟が2人です。父親は55歳になったので会社をやめています。

わたしは結婚して4歳の男の子がいます。弟たちも結婚しています。家族とはいつもインターネットで連絡をとっています。ベトナムで楽しかったのは学校へ行っている時でした。

家族が日本へ来たら、金閣寺へ連れて行きたいです。とてもきれいだからです。

氏名：鈴木 夢果(すすき めいか) 女性10才

私の家族は、3人です。でも、4才まで、福島県で住んでいました。3・11の地震で、私は、いったん中国に行きました。



中国には、おじいちゃんおばあちゃん、四年間一緒に、くらししました。小学校の2年生の秋に帰って来ました。最初は、日本語がすべてわすれちゃって、日本語教室で習いはじめました。それで、いろんな先生に会いました。その中で、高木先生と日本語のべんきょうをしました。家族みたいで、いろんな事をおしえてもらいました。今、日本語教室に行

くのが、たのしみです。本当に、パパとママと3人で一緒にくらしよかったです。

☆ベトナム実習生に日本語を教える☆

土曜教室 小林 保

どの国の人も外国語習得する上で母語の影響が大きいようです。ベトナム人にとっても同様で、日本語を習得する上で、特に難しいと感じたものを列記します。

(1) “つ” と “ゆ” の発音

“つ” を “ちゅ” と発音する人が殆どです。例えば、“1つ”、“2つ”、“3つ” ……を “ひとちゅ”、“ふたちゅ”、“みっちゅ” ……。 “シャツを買う” を “シャチュを買う” 等です。その都度、口の形を示して “つ” と発音してみせるが、簡単には直りません。 “ゆ” を “じゅ” と発音し、“ゆっくり” を “じゅっくり” と言う人も多いが、両者の口の形はほぼ同じであるため、教えるのはかなり難しいです。

(2) “し” が促音になりやすい

“～ました。”、“～でした。” の “し” が促音となり、“～まった。”、“～でった。” と言う人も多いです。

(3) 時制（テンス）が曖昧

ベトナム語に時制（テンス）がなく、昨日、今日などの単語、または文脈で時制を区別しているようです。そのため “～です。”、“～でした。” が曖昧で、かなり日本語が上達した実習生さえ間違えることがあります。「3年間、お世話になります。」と言うべきところ「3年間、お世話になりました。」と言い、これでは、来日時の挨拶が、帰国時の挨拶になります。

母語の影響は本当に大きいと感じました。

☆ “世界ふれあい祭り” バザー ☆

TIFA は今年も 11 月 5 日、6 日に開催された恒例の “世界ふれあい祭り” のバザーに参加しました。大量の出品物をテントに持ち込みバザーで販売しました。出品物は受講生を始めとして、ボランティア及び関係者の方々ご協力者より篤志によって集めら



れたもので
す。
出品物は品質がよく品数も多く、他のテントのバザーを圧倒する程で、ボランティアを中心とする販売員の数、売りの声量も目を見張るものがありました。

山をなした出品物はよい物、掘り出し物から文字通り飛ぶように売れ、天候に恵まれて来場者の出足も好調だったことも要因となり収益は過去最高額となりました。その収益金は例年通り TIFA 本体に寄付することにしました。またなによりもボランティア同士の連携がよく、出品物の収集から始まり、保全、値付け、移送、

搬出、展示、後片付けまで想定以上に順調に進み、本当に良い 2 日間でした。

出品物を提供された方々、バザーで販売された方々、荷物の運搬、片付け等をやられた方々、本当に有難うございました。

尚、皆様方から集めた品々の一部は、12 月に開催するイヤーエンドパーティーの景品、各日本語教室内で使用する備品として利用させて戴きます。

☆☆TIFA 会員動向☆☆

(敬称略)

【入会者】

木曜：なし

土曜：清高 利果

西砂：高橋 由希子 岡田 良雄

【退会者】

木曜：なし

土曜：岩切 貴美子

西砂：石井 実

【休会者】：なし

☆☆今後の予定☆☆ イヤーエンドパーティー

今年もいろんな出し物が期待できそうです。多くのボランティア会員の皆様に協力をお願いすることになりますが、宜しくお願いします。

日時：2016 年 12 月 17 (土)

受付開始 17:00 (予定)

開宴 17:30 (予定)

終了予定 20:30 (予定)

会場：柴崎学習館 地下 大ホール

会費：大人 (中学生以上) 500 円

子供 (小学生) 300 円

幼児 無料



2015 年 12 月のイヤーエンドパーティー